

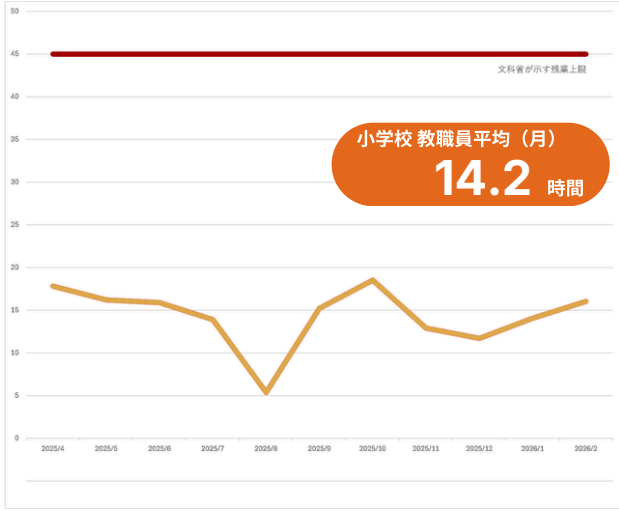
鹿追町立学校 教職員の働き方改革レポート

令和7年度 超過勤務時間の状況について

はじめに：教職員の働く環境を見つめる

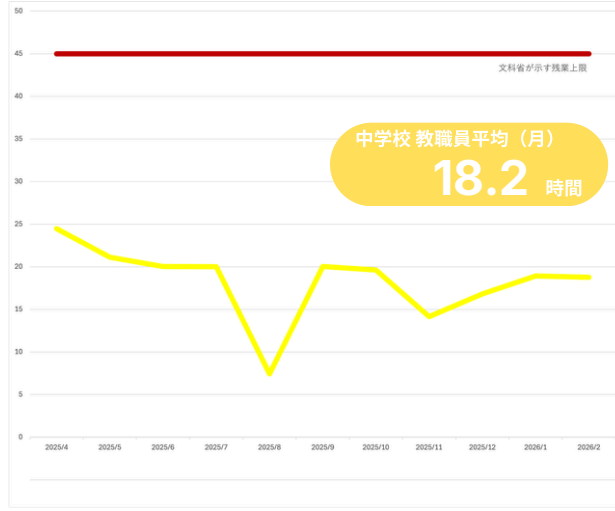
鹿追町教育委員会では、先生方が心身ともに健康で、子どもたち一人ひとりと向き合う時間を十分に確保できるよう、働き方改革を進めています。このレポートは、その一環として令和7年度の4月から2月までの教職員の超過勤務（時間外勤務）の状況を、町民の皆様にご報告するものです。データを通じて現状をご理解いただき、今後の取り組みへのご協力をお願い申し上げます。

残業時間の月別推移



小学校 教職員平均 (月)

14.2 時間



中学校 教職員平均 (月)

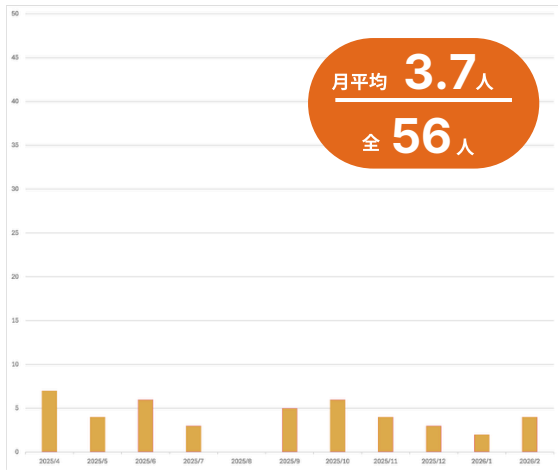
18.2 時間

年間を通じて月14時間前後と安定しており、教職員が健康的に業務に取り組める環境が維持されています。特に夏季休業期間（8月）は業務が大幅に整理され、しっかりとリフレッシュできています。

時間外労働時間は月18時間前後で推移しており、年間を通じて大きな増減は見られません。業務量の偏りも比較的少なく、安定した学校運営が行われている状況がうかがえます。

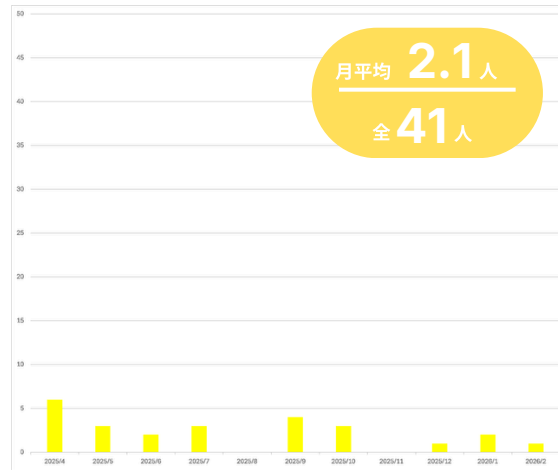
月の上限時間を超えた教職員の状況

図が示す「時間外在校等時間の上限」は、月45時間です。この上限を超えて勤務した教職員の月別の人数をグラフで示します。



月平均 3.7人

全 56人



月平均 2.1人

全 41人

今後の主な取り組み

「働き方改革アクション・プラン」に基づき、教職員の負担を軽減し、教育の質をさらに高めるため、以下の3つの柱で取り組みを強化していきます。



ICT活用による業務効率化

校務支援システムの活用や、保護者連絡のデジタル化などを進め、事務作業の時間を削減します。



部活動の負担軽減

休養日の確保を徹底し、部活動指導員の配置などを通じて、顧問の先生の負担を軽くします。



会議等の時間短縮

会議の目的を明確にし、資料を事前に共有することで、会議時間を短縮。オンライン会議も活用します。